



❖ 前文

- 働き方改革の施行に伴い、規則関係や労働環境等の改善が求められてきています。法人として、法的に実施しなければならぬこと、労働環境や職員処遇の改善のために先進的に改良を行っていくことを区別し、より良い運営に向けた取組を検討しているところです。
- 社会全体的に働き手がどんどん少なくなってきており、介護業界での人材確保は年々厳しくなっている状況です。しかしながら、当法人においての人材確保は比較的好調で、レバニとはがひらの12床増床についても完了することができました。今後の課題としては、職員の育成と定着であると考えています。
- 超高齢化社会がさらに深刻化していく中、社会福祉法人の果たすべき役割を明確化して、地域になくてはならない法人となるよう、福祉・介護・医療の地域ニーズに添えていくことが、我々の責務であると考えています。

1. 経営状況

- 法人事業全体的な稼働状況については、前年度と比較するとやや低い状況ではありますが、レバニとはがひらの増床が完了したことや修繕積立を行ったこともあり、財務のバランスはよくなってきています。
- 美松苑が27年、ウイ十二坊が12年を経過し、今後ますます修繕等が必要となってくるのが確実です。大規模な修繕とならないように、計画的かつ迅速な対応に努めていきたいと考えています。
- 人材の確保が進むにつれ、人件費は高騰してきています。特にウイ十二坊においては、派遣職員や人材紹介を通しての採用等が増えてきています。これらの採用も人件費の高騰につながっていくため、いかに経費を掛けずに直接雇用を行えるかが課題となっています。

2. 人材確保と育成

- 引き続き介護人材不足は全国的に深刻な状況にありますが、当法人での人材獲得は比較的うまくいっていると感じています。職場環境や職員処遇の改善の強化等により、人材確保と定着につながっていると考えています。新卒採用も少ないながらも毎年獲得できており、離職率については、年々劇的に減少しています。
- ホムニの充実やSNSの整備等を進め、法人の広報を強化してきました。ホムニからの求職の問い合わせも増えてきており、宣伝効果が徐々に発揮されてきているように実感しています。
- 法人全体研修の実施により、少しでも職員の交流機会を作るようにしています。どうしても同一部署の職員同士で集まる傾向にありますが、今後の課題として他部署・他施設の職員とも交流が図れる機会を作っていきたいと考えています。
- パトナムからの技能実習生8名の受入れも完了しました。実際に受入れを開始して、語彙力や仕事へ取り組む姿勢にかなりの個人差があるように感じています。これから時間をかけ丁寧かつわかりやすい指導・育成が必要であると考えています。

3. その他

- 年が明けてからは新型コロナウイルス感染症により世界中でパニックが起こっています。法人としての感染予防対応策や万一施設内で流行した場合の事業継続計画(BCP)等を確立していかなければならないと考えています。現時点で外部(家族や業者等)の施設内制限や職員への不要不急の外出制限等の取組は行っています。マスクや予防衣等の確保も困難な状況ではありますが、法人全体やグループとも協力しながら、利用者や従業員の安全確保に努めています。



◎2019年度(平成31年度) 理事会・評議員会等開催状況

会議名	日時	場所	内容	
監事監査	5月21日 14:30~	美松苑 会議室	監事監査	
理事会	5月25日 15:00~	美松苑 会議室	決議事項	監事監査報告、H30年度事業報告、H30年度収支決算、定時評議員会の開催、はとがひらケアセンターの再開、修繕費用・機器類更新等費用の積立金、資金短期借入、計算書類等の備置の実施
			報告事項	理事長及び常務理事の職務執行状況
定時 評議員会	6月12日 15:00~	美松苑 会議室	決議事項	監事監査報告、H30年度事業報告、H30年度収支決算、理事・監事の選任、はとがひらケアセンターの再開、修繕費用・機器類更新等費用の積立金
			報告事項	計算書類等の備置、資金短期借入
理事会	6月12日 16:00~	美松苑 会議室	決議事項	役員紹介、理事長及び常務理事の選定、H31年度業務執行
			報告事項	修繕費積立金の取り崩し、理事長及び常務理事の職務執行状況
理事会	3月21日 15:00~	美松苑 会議室	決議事項	H31年度補正予算、R2年度事業計画、R2年度収支予算、諸規程の改訂及び新規規程の制定、監事の退任・選任、評議員選任・解任委員会委員の退任・選任、評議員選任・解任委員会の開催、評議員会の開催、
			報告事項	レバニとはがひらの増床、十二坊ケアセンターの再開、H31年度内の実地指導の報告、理事長及び常務理事の職務執行状況
評議員会	3月23日 16:00~	美松苑 会議室	決議事項	H31年度補正予算、R2年度事業計画、R2年度収支予算、監事の退任・選任
			報告事項	評議員選任・解任委員の退任・選任、評議員選任・解任委員会の開催、諸規程の改訂及び新規規程の制定、レバニとはがひらの増床、十二坊ケアセンターの再開、H31年度内の実地指導の報告

# 2019年度(平成31年度) 社会福祉法人 近江和順会 決算報告

## 《 貸借対照表 》

2020年(令和2年)3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
2018年度(平成30年度)末		2018年度(平成30年度)末	
流動資産	445,139,844	流動負債	220,802,062
固定資産	2,431,202,148	固定負債	1,451,915,842
基本財産	2,134,001,231	負債の部合計	1,672,717,904
土地	239,361,056	純資産の部	
建物	1,893,640,175	基本金	77,490,910
基本財産特定預金	1,000,000	国庫補助金等特別積立金	702,303,002
その他の固定資産	297,200,917	次期繰越活動収支差額	403,580,806
		純資産の部合計	1,203,624,088
資産の部合計	2,876,341,992	負債及び純資産の部合計	2,876,341,992

## 《 資金収支計算書 》

2019年(平成31年)4月1日~2020年(令和2年)3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額
事業活動収入計	1,516,010,594	1,531,948,787
事業活動支出計	1,335,933,610	1,359,725,466
事業活動資金収支差額	180,076,984	172,223,321
施設整備等収入計	6,000	355,940
施設整備等支出計	129,441,000	126,860,415
施設整備等資金収支差額	△129,435,000	△126,504,475
その他の活動収入計	19,750,000	19,750,630
その他の活動支出計	48,510,040	58,760,290
その他の活動資金収支差額	△28,760,040	△39,009,660
当期資金収支差額合計	21,881,944	6,709,186
前期末支払資金残高	374,011,529	338,876,596
当期末支払資金残高	395,893,473	345,585,782

## 《 事業活動収支計算書 》

2019年(平成31年)4月1日~2020年(令和2年)3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算
サービス活動収益計	1,528,569,468	1,494,673,648
サービス活動費用計	1,470,025,170	1,395,442,926
サービス活動増減差額	58,544,298	99,230,722
サービス活動外収益計	4,010,443	2,496,242
サービス活動外費用計	15,092,917	16,439,110
サービス活動外増減差額	△11,082,474	△13,942,868
経常増減差額	47,461,824	84,287,854
特別増減の部収益計	355,939	2,680,029
特別増減の部費用計	377,343	1,275,172
特別増減差額	△21,404	1,404,857
当期活動増減差額	47,440,420	86,692,711
前期繰越活動増減差額	346,389,756	289,697,045
当期末繰越活動増減差額	393,830,176	376,389,756
次期繰越活動増減差額	403,580,806	346,389,756